

みんな （の） ひろば

社会福祉法人 岡山中央福祉会
岡山中央福祉会 友の会
機 関 紙

Vol.023

2025.9

制作・発行
住所
電話

法人機関紙編集委員会
岡山市東区西大寺中野677-1
086(943)1701

FAX

E-mail

Web Site

086(943)1716

kenseien@circus.ocn.ne.jp

<https://www.chuo-fukushikai.jp>



当施設では、6月の行事で『沖縄フェア』を開催しました。沖縄フェアは、日頃外出が難しいご利用者様方に向けて、少しでも旅行気分を味わっていただけたらと、令和3年より毎年この時期に開催している行事です。職員による出し物では、沖縄にまつわるものや異国文化に触れ合えるような多彩な内容で、歌や踊り、楽器演奏などを披露しました。また、沖縄ならではの菓子等を用意してお土産販売を行ったり、期間限定の喫茶メニューを提供したりと、ご利用者様に普段と違った非日常的な雰囲気を楽しんでいただきました。

健生園デイサービスセンター

沖縄フェア開催



核兵器のない世界を

「青年職員が平和実現を求めて行動」

国民平和大行進でシュプレヒコール

国民平和大行進が地元岡山市東区に入り、7月18日の岡山市東区役所・富山公民館コースに岡山中央福祉会の職員12名が参加しました。行進者たちは核兵器廃絶と世界平和を訴え、沿道からは笑顔で手を振る市民の方の姿も。職員たちも「世界から核兵器をなくそう」と元気にシュプレヒコールを上げ、炎天下の参加者たちを元氣付けていました。今回初めて参加したある青年職員さんは「今まで深く核兵器のことを知る機会がなかったが、参加前に資料を読み行進することの意味を知りました」と笑顔で話してくれました。



健康ウォーキングのご案内

日時…2025年10月1日(水)～11月28日(金)

平日の17時～18時30分で30分程度

場所…岡山市緑花公園(百花プラザ周辺)

対象者…友の会会員(当日の入会もできます)



被爆地広島で世界大会、碑めぐりに参加

8月3日～9日、原水爆禁止世界大会が広島・長崎で開催。岡山中央福祉会からも青年職員2名が3日、広島大会に参加しました。

世界大会では核兵器廃絶を求め行動する国内外の参加者と交流し、連帯を深めました。また、オプショナル企画では爆心地内となった平和公園内の碑をめぐり、ガイドから投下当時の様子や原爆の恐ろしさを学習。参加者のひとり有富帆香さん(健生園デイサービスセンター)は、「核廃絶の実現に向けた世界規模での取り組みや平和への思いを学習し感じ取ることができました」と話してくれました。

広島・長崎の原爆投下後、世界の反核運動は大きなうねりとなっています。昨年12月に日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)がノーベル平和賞を受賞し、代表委員の田中熙巳さんはスピーチのなかで日本政府の『戦争の被害は国民が受忍しなければならぬ』という、これまでの戦争受忍論を痛烈に非難しました。2017年に国連で核兵器禁止条約が採択、93か国・地域が署名(2024年1月時点)しており、被爆国日本の一刻も早い批准・署名が求められます。



折鶴に平和の願い託して

表町商店街で「平和七夕まつり」

6月21日～7月23日の期間中、表町商店街の「平和七夕まつり」に折鶴の吹き流しが飾られ、街行く人が立ち止まって眺めていました。

岡山中央福祉会からもご利用者や友の会会員、職員たちが戦争反対の思いを込めひとつひとつ丁寧に折った折鶴が飾られました。ケアハウスあかねのある入居者さんは、「岡山空襲で大変な思いをした。もう二度と戦争はしたくないね」と語り、平和の願いを折鶴に託していました。



岡山市にも9条の碑を

全体学習会で職員が憲法9条学ぶ

岡山市にも9条の碑をつくらうという運動が広がっています。6月10日・20日に岡山中央福祉会で学習会があり、木村高晴さん(岡山市9条の碑建立実行委員会事務局次長)から憲法9条について学びました。集まった計134名の職員からは建立カンパが次々と寄せられています。



さっちゃん家

地域の皆様に寄り添います

さっちゃん家では、この4月より『認知症伴走型支援事業所』を開設しました。まだ聞きなじみのない言葉だと思っています。

岡山市で昨年度より新たに始まった伴走型支援事業は、在宅におられる認知症の方やその家族に症状が察知された早い段階から関わり、その変化に寄り添い続け、支え、共に考えながら歩んでいこうという取り組みです。

さっちゃん家は東区で唯一の支援事業所となり、地域で認知症にお困りの方や不安を抱えている方が、気軽に相談できる窓口となっています。また、さっちゃん家では『認知症カフェ』も定期的に開催し、誰でも交流できる居場所づくりを予定しています。



さくら苑リハビリセンター

地域の方々が彩る花壇、心温まる交流の場

さくら苑リハビリセンター（以下、さくら苑）の花壇は、季節に合わせて花や葉の種類を工夫し、地域の方々の手によって美しく彩られています。



去る6月12日に友の会園芸班の田中様を中心に「夏の花」を植え替えていただきました。ヒマワリをはじめ、マリーゴールド、サルビア、ペチュニア、ジニア（百日草）など、夏の強い日差しにも負けず、鮮やかな色合いで花壇を明るく彩ってくれます。季節を感じさせる花々が咲き誇り、さくら苑を訪れる人々の心を和ませています。

花植えの活動は、単に美しい景観を作るだけでなく、地域と施設の交流の場にもなっています。作業の合間には、参加者同士で笑顔があふれ、自然と会話も弾みます。利用者の方々も花壇を眺めたり、外に出て花の成長を楽しみにしたりと、日々の生活に彩りが加わっています。地域の皆さんの温かいご協力により、施設はより明るく、居心地の良い場所となっています。これから、この花壇を通じて地域とのつながりを大切に、共に歩んでいきたいと思っています。花々とともに、心も豊かに育まれる場所を目指してまいります。



認知症のことでお悩みの方、ご家族の方へ

認知症相談

-岡山市認知症伴走型支援拠点さっちゃん家-
岡山市東区に専門の相談窓口を開設しました♪

「こんなお悩みありませんか?」

- ✓ 最近物忘れがひどく、とても不安...
- ✓ 介護のストレスが溜まってしま...
- ✓ どこに相談したらいいのか分からない

認知症介護の経験豊富なスタッフがあなたの不安へ親切丁寧に対応します。まずはお気軽にご相談してください!

窓口

日にも 平日(週末・祝日・年末年始休み)

時間 9:00~17:00

対面相談 毎週金曜日14:00~16:00
※他の曜日は応相談 ※出張相談承ります

対応者 介護福祉士・介護支援専門員

まずは電話・メール・QRコードで

社会福祉法人岡山中央福祉会
岡山認知症伴走型支援事業所
さっちゃん家

086-948-9788
080-4357-1930
〒704-8196 岡山市東区金田819
email: saccyan@oka.urban.ne.jp



開設日：平日(週末・祝日・年末年始休み)

時間：9:00~17:00

対面相談：毎週金曜日14:00~16:00
※他の曜日は応相談 ※出張相談承ります

対応者：介護福祉士・介護支援専門員

☎080-4357-1930
〒704-8196 岡山市東区金田819
Email ▶ saccyan@oka.urban.ne.jp



中野けんせいえん デイサービスセンターひなた

身近で実際にデイサービスを利用している方がいないと、何をやるどころ？どんなことをして過ごしているの？様々な疑問があるかと思いますが。そこでデイサービスひなたでの1日を簡単にご紹介させていただきます。

1日の基本的な流れは左に記載しているとおりです。自宅から事業所間の送迎は毎回させていただきます。デイサービス到着後、バイタル測定を行います。ここで身体の不調がある方は看護師がおりますので、ご相談いただけます。昼食までの間は入浴希望される方が入浴をされたり、フロアではパズルや色塗り、脳トレ等個別活動、全体での全身体操を行っています。昼食後はベッドやソファアがありま

すので、ゆつくりお休みされる時間も作れます。お昼からは歩行訓練等下肢の運動を中心に行っています。カラオケや貼り絵、ゲームなどレクリエーションを皆さんと一緒にいき、帰宅となります。

☎086・943・1707 担当 水上

● 1日の流れ (基本)

8:30頃	お迎え
9:00～	(デイ到着)健康チェック
9:30～	入浴・個別活動
10:00～	全身体操 1
11:30～	口腔体操
12:00～	昼食
13:00～	自由行動
14:00～	全身体操 2
14:30～	ティータイム
14:45～	レクリエーション
16:15～	お送り(デイ出発)



介護の楽しさ・やりがいみつけた！〜まごころは伝わる〜穂香の里

介護福祉士 福田 幸子

私は介護に携わるようになって今年で九年目になります。最初のうちは業務に追われて一日があっという間に過ぎていました。忙しい日々ではありましたが、業務の合間にご利用者と係わる時間を作り、一緒に散歩をするなどしていました。しかし、今思えば忙しさの中で心に余裕が無く、ご利用者を大切に思う気持ちに欠けていました。そのため、やりがいを感じる事が出来ず苦しい日々を送っていました。

そんな時、別の事業所への異動がありました。新しい環境の中で心に余裕ができたからなのか、次第にご利用者一人ひとりを大切に思えるようになりました。大切に思いながら接していると、その気持ちご利用者にも伝わり「あんたはようしてくれる」「あなたがいる日は安心する」「あなたのことは信用できる」と言ってもらえるようになりました。

このようにおっしゃって私に信頼を寄せてくださった、あるご利用者が看取りになりました。その方のご希望で、最期は穂香の里で迎えたいとの願いを叶えることになりました。そして、そのご利用者は私が見守る中そっと息を引き取りました。家族や兄弟と反りが合わず、ずっと孤独だったそのご利用者の最期に寄り添うことが出来て良かったと思います。最近もまた、ご利用者との別れがありました。急に熱が出たので心配で何度も訪室し、飲み物を飲んでいただき、少しでも食べて欲しくて水ようかんやゼリーを召し上がっていただきました。ゼリーを食べて一時間後、状態が急変し救急搬送されて翌日亡くなられました。私が最後に聞いたその方の言葉は「ありがとう」でした。急な別れでしたが、その方の最期にまごころを尽くすことができて嬉しかったです。



介護職は、単にご利用者の生活のお世話をするだけではありません。ご利用者を大切に思う心から生まれた言葉や対応にご利用者は安心感を抱かれます。また、自分は大切にされていると思えた時、心が温まり満たされるのだと思います。その様に思っていたことが介護のやりがいだと思っています。

「ご利用者のこれまでが辛く苦しいものであっても最期が幸せなら『幸せな人生だった』と思うことができる」と、私がまだ実習生のころ実習先の職員さんがおっしゃっていました。私たち介護職は、その人の人生そのものを幸せにすることが出来るのです。確かに、日々忙しく大変な仕事ではありますが、今いる場所での利用者様を大切に思い、ご利用者の頼れる存在、心のよりどころになっていきたいと思っています。私の介護のテーマは、「私は大切にされている、と思ってもらえる介護」です。

